

濃緑の温泉

清遊と保養

花園みはらし

館主 横倉泰治氏

静寂な秋が訪れた、夏の緑を祈つた、三郎病全くの壓迫を緩和させるやうな治まり辭し去るに臨みその自然色彩をばどこされる清守木尊地蔵権現の像を彦六泉を聯想すると同時に眞に贈り今傍らに鑛泉湧出し人生の青春時代を思はせる旅舎在り権現湯と稱へられではないか。

静思の秋ほど清々とした氣持よい美しいものはないので、秋は郊外散策のシーズンだ、土曜日から日曜にかけて湯治をかねた小旅行も興味深い事であらう。

さて清遊は何處へ? ハイキング好適地である花園権現湯は棚倉驛より北東六丁許り別天地にて往古莊園を置かれし跡、今日花園みはらしと呼ばれて居り山深緑からざるも幽、老松丁々途を遮り苔石所々に横つてありし昔をものがたつてゐる。

まあ療養には實に、場所である家庭一團そろつてツクニツクにも良い場所であるそれから見ても全く俗化されない白河の關巡りのプランには必ず忘れられぬ一つである。

権現由来を探ねれば、文治五年源義經の臣鈴木三郎主の後を追ふて來り、病んで花園に宿した、主人彦六翁に介け心よりその癒えん

風光明眉と發展振り

那須屋旅館

那須屋旅館のほがら

那須屋旅館は水郡線東館毎に愛情を以て接し、氏は驛前にあり、館山を背に受温良で親分肌の人にして人け懐ろにでも抱かれた様な感じに接するや眞に情を以てしじのする處にあり、緑樹を初對の人も氏に接せば眞の負つた清々しい旅館である。女中のサーピスも亦浴助。女中のサーピスも亦浴助。女中のサーピスも亦浴助。

那須屋旅館は水郡線東館毎に愛情を以て接し、氏は驛前にあり、館山を背に受温良で親分肌の人にして人け懐ろにでも抱かれた様な感じに接するや眞に情を以てしじのする處にあり、緑樹を初對の人も氏に接せば眞の負つた清々しい旅館である。女中のサーピスも亦浴助。女中のサーピスも亦浴助。女中のサーピスも亦浴助。

末廣

平田町 電話四三番

殘暑御伺

石城郡四倉町 菅波康太郎 四倉町	四倉町 菅波末吉 四倉漁業組合長	代表 双葉郡小學校長會 佐藤留之助 同新山町 信用組合理事	同長塚村 田中清太郎 土木建築請負業	同新山町 佐藤五郎 同長塚村	同新山町 小野田七郎 助役	同新山町 龜田政八 全山山郵便局長	同新山町 古山忠三郎 同長塚村 修齋女學校校長	同新山町 岩東マス
同川内村 長渡邊博之 村長	同川内村郵便局長 西山貞松	同川内村 三瓶於兔吉	同龍田村 坂本晃 在郷軍人分會長	同龍田村 原長太郎 土木建築請負業	石城郡四倉町 植田材木店 双葉郡請負業	同新山町 小松屋旅館	同富岡町 山田火藥店 電話三五番	同富岡町 福壽軒 味覺の殿堂!! カフエー 平田町驛前 電話二八番

福山の靴!!

製造 販賣

平町三丁目

福山靴店



銘酒「長生」製造元

磐崎屋本店

小名濱町 電話七番

尾城寫眞館

小名濱町電話一〇四番

秋爽な気分を
眞實に寫す

大黒屋

勝次商店

本店 平町三丁目
支店 平三丁目角
(常陽銀行前)
電話一六番

内科小兒科
産婦人科
花柳病科

小名濱町電話二二番

久保田醫院

一般内科
外科
花柳病科

小名濱町上横町 電話一四八番

會田醫院

口腔外科
齒科一般

小名濱町電話一〇五

木田齒科醫院

銘茶、砂糖、乾物
和洋紙、化粧品
石鹼、陶器、足袋
其他 日用品各種

小名濱町中島八島屋向心

丸一屋商店

内外建築、材建具材

阿部材木店

店主 阿部好利
平町公園下電話四九四番

田畑屋號

大平材木店

店主 大平
小名濱町電話一〇八番

加藤組出張所

鹽谷茂雄

平町 電話四八〇番